藤村いろは歌留多

島崎藤村

青空文庫

「歌留多」の函

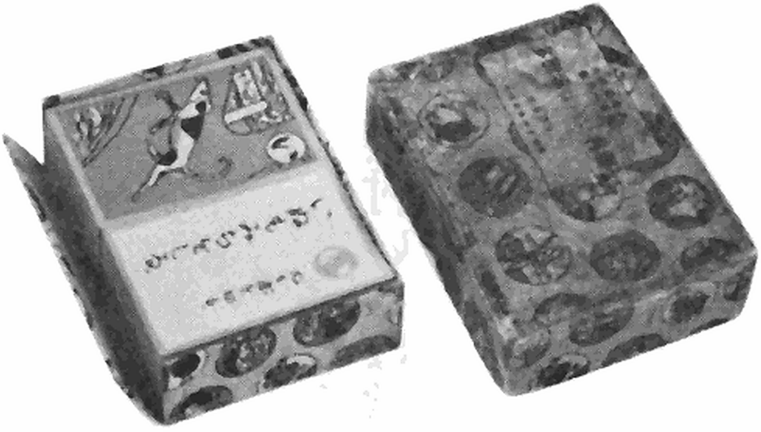
「歌留多」のなかに折りたたみで入っていたパンフレット

このいろはがるた

長いこと私は民話を書くことを思ひ立つて、未だにそれを果さずにゐますが、このいろはがるたもそんな心持から作つて見ました。私の『幼きものに』や、『ふるさと』や、『をさなものがたり』は、形こそ童話でありますが、その心持は民話に近いやうに、子供のために作つたこのいろはがるたも矢張それに近いものです。子供よ、來て遊べ、と言つて、父母も一緒に遊んで下さい。

い　犬も道を知る。

ろ　櫓は深い水、棹は淺い水。



は　鼻から提灯。

に　鶏のおはやうも三度。

ほ　星まで高く飛べ。

へ　臍も身の内。

と　虎の皮自慢。

ち　ちひさい時からあるものは、大きくなつてもある。

り　林檎に目鼻。

ぬ　沼に住む鯰、沼に遊ぶ鯰。

る　瑠璃や駒鳥をきけば父母がこひしい。

を　丘のやうに古い。

わ　わからずやにつける藥はないか。

か　賢い鴉は黒く化粧する。

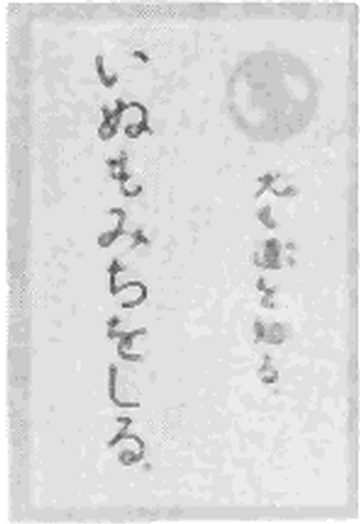
よ　好いお客は後から。

た　竹のことは竹に習へ。

れ　零點か百點か。

そ　空飛ぶ鳥も土を忘れず。

つ　つんぼに内證話。


い
犬も歩けば
いぬもみちをしる。


い

ね　猫には手毬。

な　なんにも知らない馬鹿、何もかも知つてゐる馬鹿。

ら　蝋燭は静かに燃え。

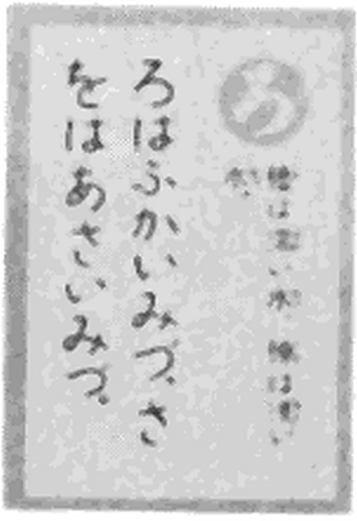
む　胸を開け。

う　瓜は四つにも輪にも切られる。

ゐ　猪の尻もちつき。

の　のんきに根氣。

お　玩具は野にも畠にも。


ろはふかいみづ
をはあさいみづ



く　草も餅になる。

や　藪から棒。

ま　誠實は殘る。

け　決心一つ。

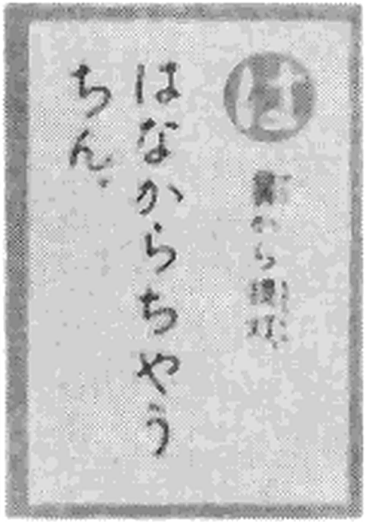
ふ　不思議な御縁。

こ　獨樂の澄む時、心棒の　る時。

え　枝葉より根元。

て　手習も三年。

あ　鸚鵡の口に戸はたてられず。


は
鼻から提灯
はなからちやう
ちん。



さ　里芋の山盛り。

き　菊の風情、朝顔の心。

ゆ　雪がふれば犬でもうれしい。

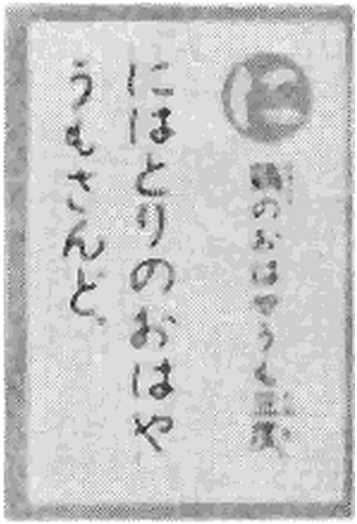
め　めづらしからう、面白からう。

み　耳を貸して手を借りられ。

し　仕合せの明後日。

ゑ　笑顔は光る。

ひ　日和に足駄ばき。

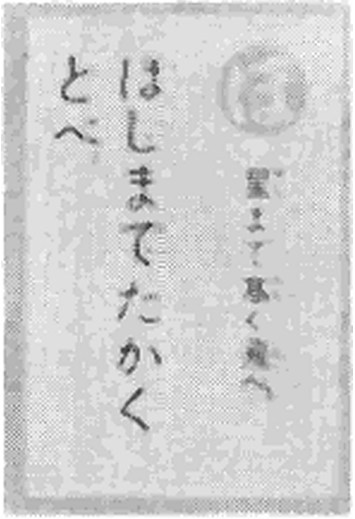

に
にはとりのおはや
うもさんと、


に

も　持ちつ持たれつ。

せ　蝉はぬけがらを忘る。

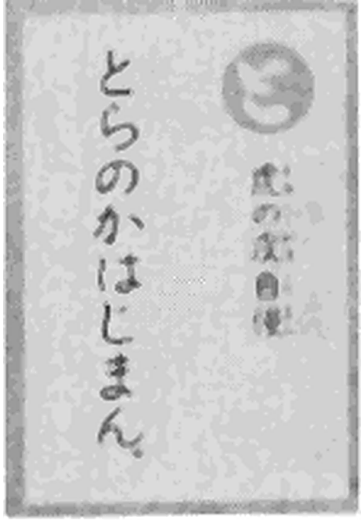
す　西瓜丸裸。


星よりも高く飛べ
はしまてたかく
とべ



へそもみのうち




と
とらのかはしまん。


と

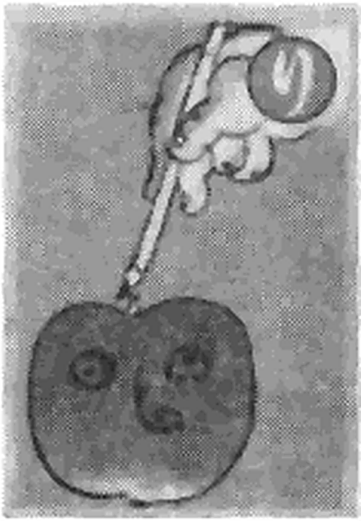
ち

ちいさいときからあるものは、おおきくなってもある。



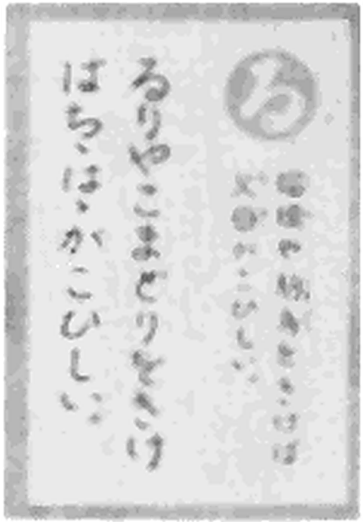
り

りんごにめはな

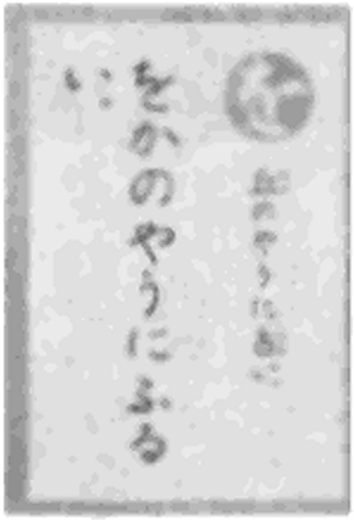


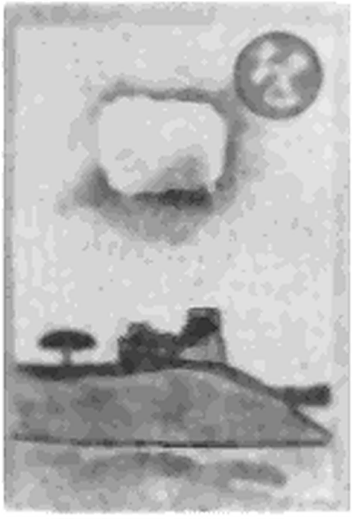
ぬまにすむなまづ、
ぬまにあそぶなまづ。

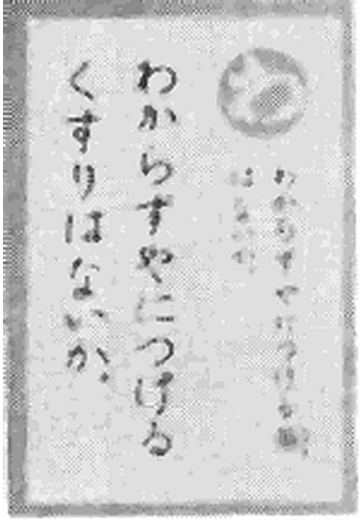



ろ
ろりやこまどりをさけ
ばちはかこひしい

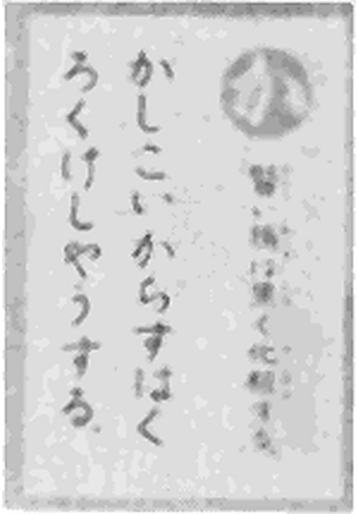

ろ


をかのやうにふる
い

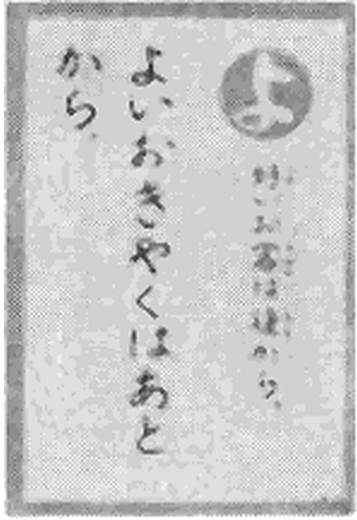



わからずやにつける
くすりはないか。

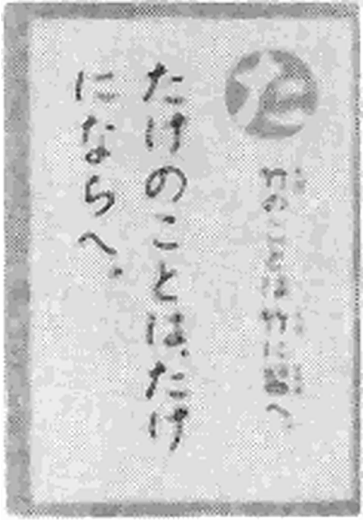



か
かしこいからすはく
ろくけしやうする。


か


よいおきやくはあと
から。



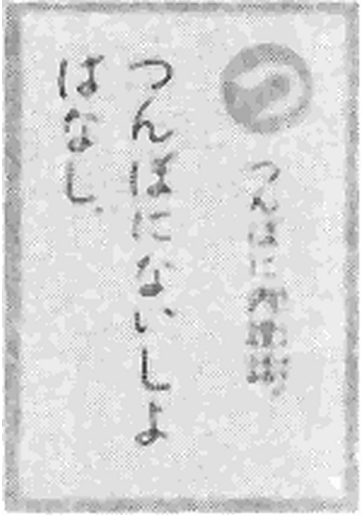

た
たけのことは、たけ
にならへ。


た

れいてんか、ひやく
てんか。



そらとぶとりもつちを
わすれず

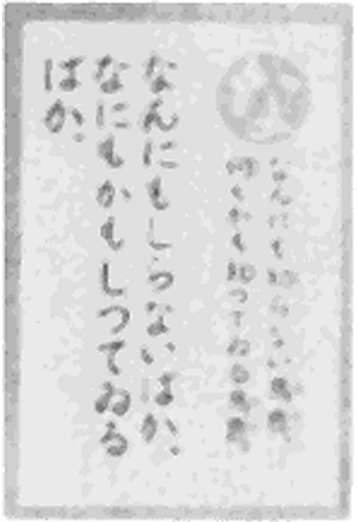

つんぼにあまいしょ
つんぼにないしよ
はなし

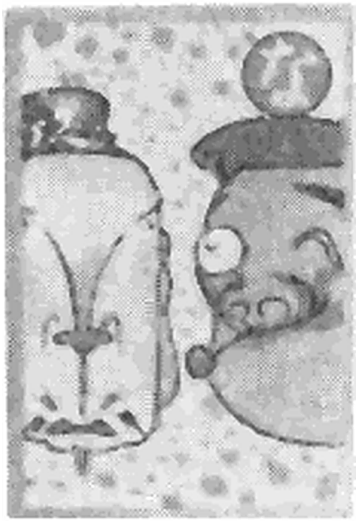


ね

ねこにはてまり。



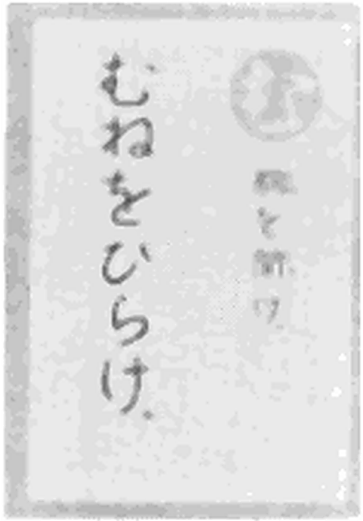

なんにもしらないばか、
なにもかもしってゐる
ばか。



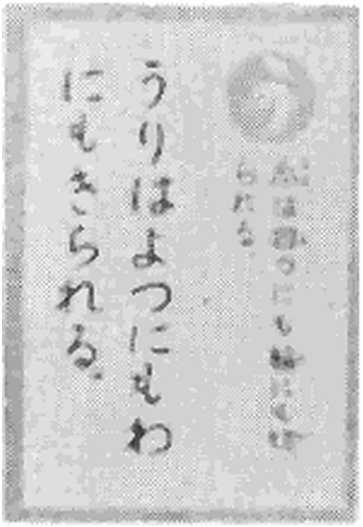
ら

らうそくはしづかにもえ

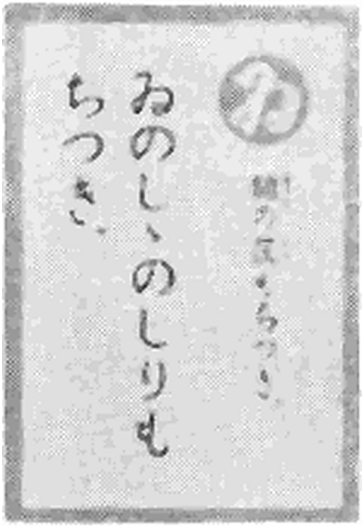



む
蚊と蚤ワ
むねをひらけ。

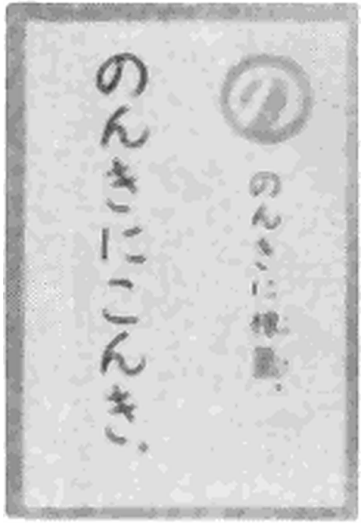

む


う
うりはよつにもわ
にもきられる。

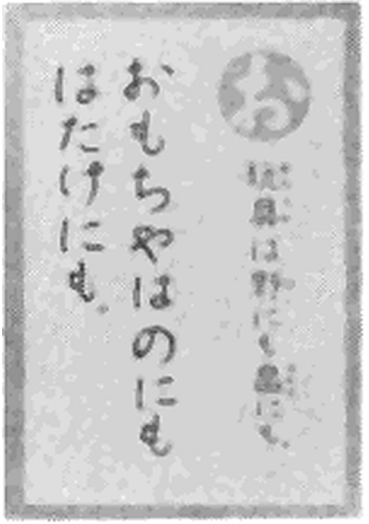

う


ね
ねずみ・ちうう
ねのしゝのしりも
ちつさゝ


ね


の
のんきにこんき。


の


は
おもちやはのにも
はたけにも。


は

く

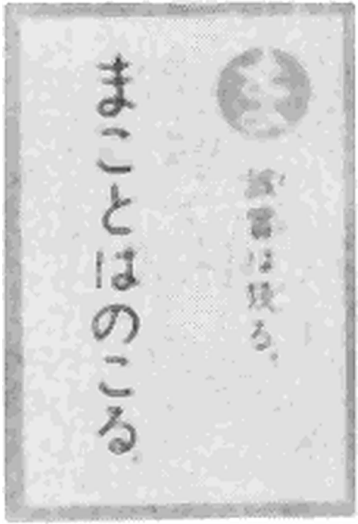
くまさんもちになる。

や

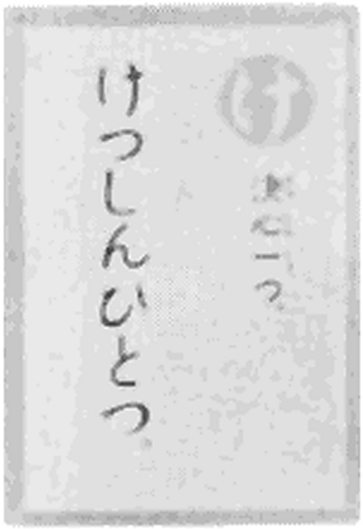
やぶから棒

やぶからぼう。




武者は我ら、
まことはのこる




け
おにに
けっしんひとつ



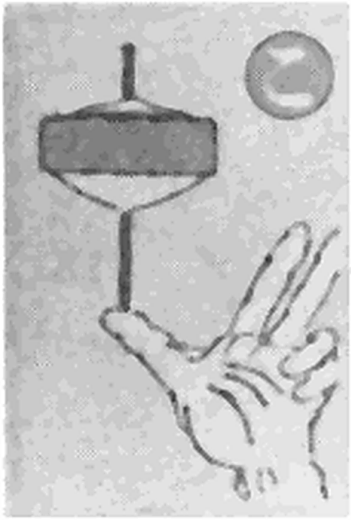
ふ

不思議な事件

ふしぎなこころ



5
こまのすむとき、しん
ぼうのまはるとき。

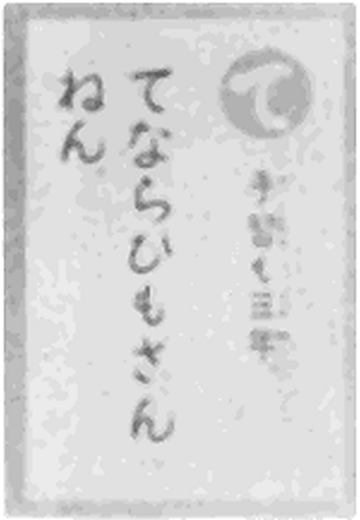


え

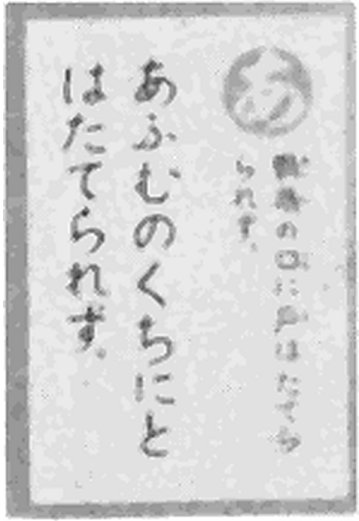
江戸より権兵衛

えだはよりねもと



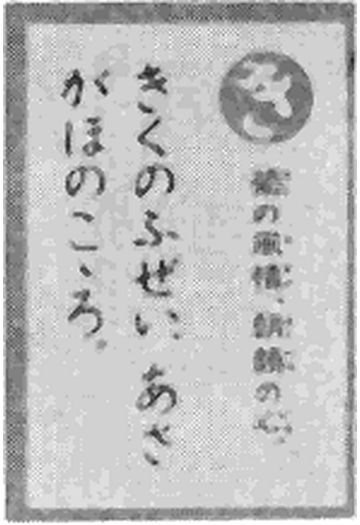

てならひもさん
ねん



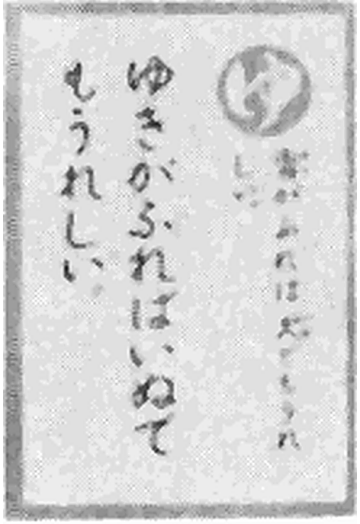

あふむのくちにと
はたてられず。



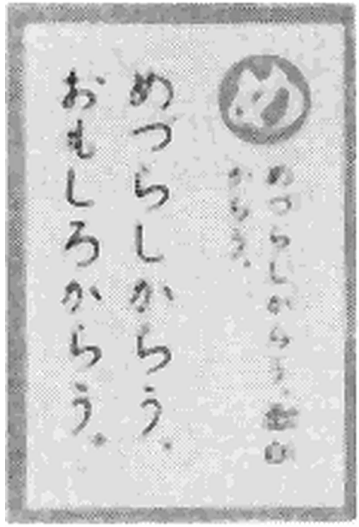
さんごのやまもり


き
家の風儀、師匠の心
きくのふぜい あさ
がほのこころ。

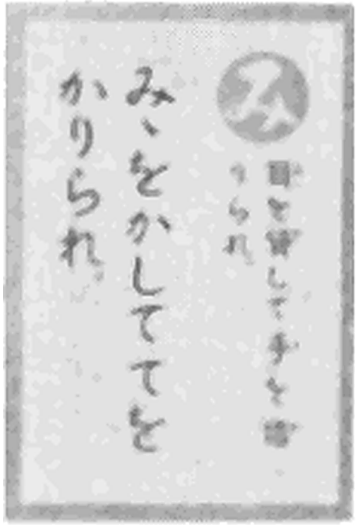



ゆきがふればいぬて
もうれしい

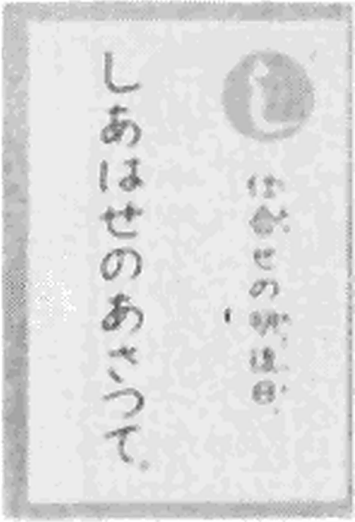



めつらしからう。
おもしろからう。

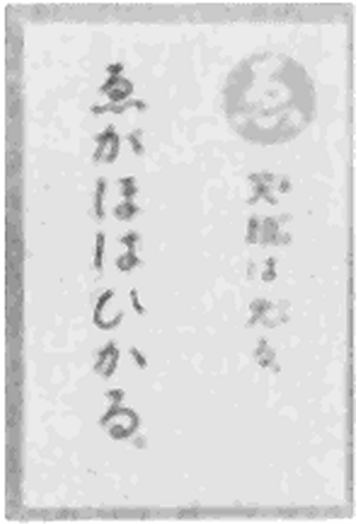



み、をかしててを
かりられ、




し
しあはせのあさつて。


し

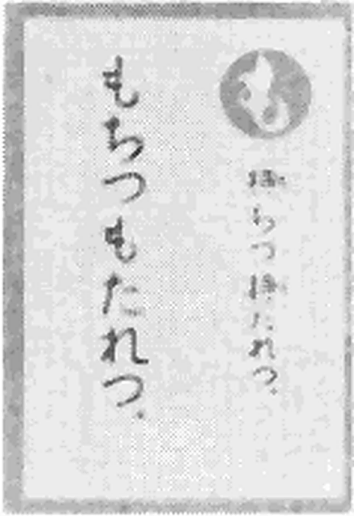

え
えがほほえむ。


え

ひ

ひよりにあしだよ。




もちつもたれつ

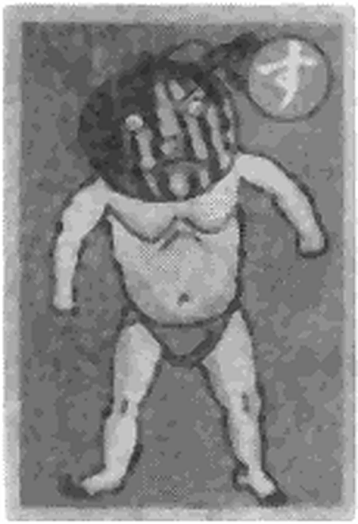


せみはぬけがらを
わする。



す

すゐくわまるはだか。



青空文庫情報

底本：「藤村全集第九巻」筑摩書房
　　1967（昭和42）年7月10日発行
初出：「藤村いろは歌留多」實業之日本社
　　1927（昭和2）年1月5日
※絵札は岡本一平によります。
入力：かな　とよみ
校正：杉浦鳥見
2020年2月21日作成
青空文庫作成ファイル：
このファイルは、インターネットの図書館、青空文庫（https://www.aozora.gr.jp/）で作られました。入力、校正、制作にあたったのは、ボランティアの皆さんです。

藤村いろは歌留多

島崎藤村

2026年10月1日　第二版

奥　付

発行　　青空文庫

URL　　http://www.aozora.gr.jp/
E-Mail　　info@aozora.gr.jp

作成　　青空ヘルパー　　赤鬼@BFSU
URL　　https://aohelp.club/
BiliBili　　https://space.bilibili.com/10060483

Special Thanks
　青空文庫　威沙

青空文庫を全デバイスで楽しめる青空ヘルパー http://aohelp.club/
※この本の作成には文庫本作成ツール『威沙』を使用しています。
http://tokimi.sylphid.jp/